

## 編集室から

シリーズで寄稿欄を執筆中の井垣さんから、今月の記事にと送られてきたジョン・レノンのイマジンの歌詞。残念ながら記事欄には収まりきらないので、こちらに掲載させて頂きました。Akihiro ObaさんによるImagineの和訳は、ネットでもあちこちで拝見できます。

理想の世界を夢想するだけでなく、実現化させていく道程を歩む仲間を増やしていくことが、理想を描ける人間ならではの役目ではないかと思います。(は)

歌詞の掲示に著作権上問題があれば、ご指摘ください。

和訳 Akihiro Oba

### Imagine

Imagine there's no Heaven It's easy if you try No Hell below us Above us only sky Imagine all the people Living for today...	想像してごらん 天国なんて無いんだと ほら、簡単でしょう？ 地面の下に地獄なんて無いし 僕たちの上には ただ空があるだけ さあ想像してごらん みんなが ただ今を生きているって...
Imagine there's no countries It isn't hard to do Nothing to kill or die for And no religion too Imagine all the people Living life in peace	想像してごらん 国なんて無いんだと そんなに難しくありませんか？ 殺す理由も死ぬ理由も無く そして宗教も無い さあ想像してごらん みんなが ただ平和に生きているって...
You may say I'm a dreamer But I'm not the only one I hope someday you'll join us And the world will be as one	僕のことを夢想家だと言うかもしれないね でも僕一人じゃないはず いつかあなたもみんな仲間になって きっと世界はひとつになるんだ
Imagine no possessions I wonder if you can No need for greed or hunger A brotherhood of man Imagine all the people Sharing all the world	想像してごらん 何も所有しないって あなたなら出来ると思うよ 欲張ったり飢えることも無い 人はみんな兄弟なんだって 想像してごらん みんなが 世界を分かち合うんだって...
You may say I'm a dreamer But I'm not the only one I hope someday you'll join us And the world will live as one	僕のことを夢想家だと言うかもしれないね でも僕一人じゃないはず いつかあなたもみんな仲間になって そして世界はきつとひとつになるんだ



のと  
だらぼち

本ニュースにレギュラー執筆していただいている川畠さんが「能登だらぼち」を引き受けて改装開店されました。

上京された際、ご利用になってみてください。

のと だらぼち  
03-5537-3078  
17:00~23:00 日曜祝休

中央区銀座8-4-27  
プラザ銀座ビル地下1階  
(銀座外堀通りasics前)

このニュースは、計画に携わる若手の技術者を育てることを目的に発行を始めました。その後、計画という仕事の内容や、普段、計画マンがどのようなことを考えているのかなどに触れて、少しでも業界を知っていただければと考えて編集しています。

2022/04  
(株)アスリック  
<http://www.neting.or.jp/usric>  
〒920-1167  
石川県金沢市もりの里1-149-302

電話 076-233-7217  
Fax 076-233-7375  
Email [usric@neting.or.jp](mailto:usric@neting.or.jp)

2022/04  
(株)アスリック  
<http://www.neting.or.jp/usric>

# 卯 月



和歌山県有田川町にて  
by hama

この一ヶ月で、信じられない変化が起こりました。まさかロシアが戦争を仕掛けるとは思いませんでした。ロシアの行為には狂気を感じます。いざとなれば核兵器を使う覚悟までしているのでしょうか。どうやら、開戦の決断は大統領個人の意志に強く依存するものようです。何故そのような人物が、大量の核兵器を持つ国の指導者になっているのでしょうか？でもそれは、ロシアだけでしょいか？そして、もしそのロシアの指導者が何らかの事情で消えてしまう事態になれば、全てが解決になるのでしょうか？

◎

国民の投票で選ばれた指導者は、有権者の多数派を象徴しています。ロシアの場合は混乱していた国を大統領の強権で立て直してきた経緯があるので、止むを得ない側面はあるかと思えます。その意味で、もっと根深い病を感じるのはアメリカ合衆国の方です。前任の大統領は、信じ難いほどに酷い人物だったではありませんか？四年の在任期間中に、呆れるような本性を十二分に見せつけられたではありませんか？それなのに、更にあと四年も核ミサイルの発射ボタンを彼に任せたいと望むアメリカ国民の数が望まない人とはほぼ拮抗していたのです。これは、驚くべきことではありませんか？

◎

アメリカやロシアだけでなく今の世界が抱えている病は、自国の利益さらけに言えば個人の当面の利益しか考えていないとしか思えない人々が余りに多いという点です。もう自国の利益だけを考えていればよい時代ではないと、頭では判っているはずですが。地球環境も、人類全体の利益も、将来世代に与える影響も、十分に配慮しなければツケがやがて必ず自分達に返ってきます。自分の利益に反しても痛みを伴っても、行動を起こさねばもう間に合いません。COVID-19ですら、世界は閉塞感に覆われています。遥かにマグニチュードの大きい温暖化という災害が旱魃・飢饉・洪水・感染症・海面上昇 etc. の形で世界中を蝕み始めた時、我々人類はどんな醜い争いを繰り広げてしまう事になるのでしょうか。

◎

人類が一致協力して考えて取り組まねばならない時、共通する価値観や心から納得して一致できる単純な理念が必要です。「国家や宗教を理由に殺し合うなんてバカげてる…」「所有にとられるから欲や飢えが生まれるんだ…」「みんな兄弟じゃないか…」「ウクライナからの映像を見ると、学生時代に抱いた夢がどんどん遠ざかっていってしまいます。



【プロフィール】  
（いがきとしお）金沢大学北渙寮で、濱さんの二年後輩でした。濱さんは、とっても怖かった…。卒業後は金沢を離れ、現在は温暖な讃岐高松でヌクヌクしています。

## 濱の起業塾 三六『事業運④』

社会起業の志に燃えている準備段階では、起業（ビジネスモデル）アイディアの素晴らしさこそが、起業の成否を握っているように思うことが自然かも知れない。

一方で、起業経験者に尋ねてみると、成否の力を握るもっとも重要なことは、「縁」だと言われることがほとんどだと思う。

事業の成否は人が握っている。これは、「起業家」という人が握っているというより、「起業家にご縁のある周囲の人々が握っている」という方が正確だ。起業時には特にそうだが、事業を継続する上でも、さまざまなりソースが求められる。資金力しかり、マンパワーしかり、調達力・集客力……。これらのどれ一つとっても、善きご縁に恵まれるか、そうでないかの違いは大きい。時には、顧客・クライアント・発注者に救っていただけでなく経験するかもしれない。

かくいう自分も、発注者に見出して頂き、実績をゼロからイチにできた経験を持つ。コンサルタントなどという自らのスキル・経験・応用力そのものを商品として提供する業界では、実績こそ物を言う。

しかし、創業の頃に実績があるはずもない。実績だけを頼りに採否を決定されると、永遠に実績はゼロのままとなる。そんなとき、「君を見込んで依頼する」と言われた有り難さは、身に染みる。ワコーを創業された塚本氏が語られた起業の頃のお話に「最初に買って（商品を仕入れて）くれたお客さまとは今でもお付き合いをさせてもらっている」とあったことを、今でも忘れずにいる。

最初のお客さまとなって頂ける方は、ゼロをイチにして頂いたご縁の方だ。創業以降のすべての物語は、この方からしか始まらない。のちになってどれほど成功しようとも、最初の顧客になって頂いた方から、あらゆる経験を積ませて頂く道程が拓かれ、喜びも辛さも、この方が起点となっていることを、忘れてはならないと思う。

## きただより88 弘前大学 地域社会研究会 上村 康之 『ウクライナ・ロシアとの姉妹都市交流の状況』

ロシアのウクライナ侵攻から1ヶ月以上が過ぎた。国連総会でロシアに対する決議案について130ヶ国の賛成で採択された（反対5、棄権38）。この状況下においても、ロシアとの歴史、経済、イデオロギーなど関係から棄権した国が38ヶ国にも及びことを改めて感じた次第である。秋田市内の書店では、過去に出版されたロシア関係書籍が、緊急増版となり、帯を改めて並んでいた。

さて、地方自治体には姉妹交流がある。国との関係とは別に地方自治体同士が関係を締結し、語学、文化、スポーツ、経済等を通しての親善や交流を行っていくものである。我が国の姉妹都市交流は2022年3月で1,785件となっており、年々増加している。姉妹都市締結のきっかけは、存立基盤が似ていてほぼ同規模のまちということが多い。しかしながら、その実態は交流が盛んなところもあるが、締結だけはした、過去に交流はあったが予算の削減やキーマンの欠如、市町村合併で締結当初の気運も人材もなくなったなどにより、実質的には中止のところもある。

そこで唐突ではあるが、姉妹都市交流は日常あまりテーマに上がってはこないテーマであるが、ウクライナとロシアの姉妹都市交流について一資料として見てみたい。これらの姉妹都市交流が国はどうありながらも、別個に今後ともつながっていくことを期待したい。

1. ウクライナとの姉妹都市交流 2
    - ・京都市とキエフ市 古都、都市の規模が同程度（1965）
    - ・横浜市とオデッサ市 共に国際港湾都市（1971）
  2. ロシアとの姉妹都市交流 48
    - ・北海道19 道（1998）と14自治体がサハリン州、4自治体がシベリアの各自治体、1自治体がハバロフスク州の自治体と。
    - ・青森県1 県とハバロフスク地方（1992）
    - ・秋田県2 県と沿海地方（2010）、秋田市とウラジオストク市（1992）。
    - ・山形県4 山形市（1991）、酒田市（1979）、村山市（1992）とシベリアの各都市と。庄内町がコルサコフ市<サハリン州>（1992）と。
    - ・東京都1 都とモスクワ市（1991）。
    - ・新潟県4 新潟市とハバロフスク市（1965）、ウラジオストク市（1991）、ヒロビジャン市<ユダヤ自治州>（1992）、加茂市とコムソモリスク・ナ・アムール市<ハバロフスク地方>（1991）。
    - ・富山県1 県と沿海地方（1992）
    - ・石川県5 県（1991）と金沢市（1967）、七尾市（1970）、能美市（1976）の3自治体と、イルクーツク州の各自治体。
    - ・福井県1 敦賀市とナホトカ市<沿海地方>（1982）
    - ・京都府2 府とレニングラード州（1994）、舞鶴市がナホトカ市（1992）。
    - ・大阪府2 府と沿海地方（1992）とサンクトペテルブルグ市（1978）。
    - ・兵庫県2 県とハバロフスク地方（1969）、洲本市とサンクトペテルブルグ市（2001）。
    - ・鳥取県1 県と沿海地方（2010）。
    - ・島根県1 県と沿海地方（1991）。
    - ・山口県1 長門市とソチ市<黒海沿岸のクラスノダール州>（2018）。
- \*（ ）内は締結年。資料：自治体国際化協会ホームページ（2022.3.28最終閲覧）。

## 『飲食業において新型コロナが残したもの(5)』 株式会社GARBAGE代表 川島 嘉浩

何回かに渡って『新型コロナが残したもの』という大仰なお題で進めてきましたが、僕らがコロナ関連のニュースに触れてからこの2年を振り返ってみて感じたこと、得たことはなんだっただろう?と考えることがあります。

変異を繰り返すため正体がつかみにくい病原体ウイルスという敵に対して怯えたことも事実。

フェイクも含めて様々な情報がメディアやネットで拡散され、生活行動様式まで変えられたのも事実。

またそれが原因もしくは、きっかけとなって多くの飲食店が店を閉じたのも事実。

しかし、その事実以前にある自分自身が意思決定をくだすにあたり原因となる情報や、そのリソースは本当に真実だったのか?

一部分だけを切り取って見せられているだけではないのか?比較対象とするものはなかったのか?

新型コロナが僕自身に教えてくれたこととは?

例え新聞社、テレビ、そして政府が発信した情報であったとしても、そこに人間が介在している以上、何かしらの意図や編集という名の情報操作があるという事を知ることができたということでしょうか。

（おわり）

## 『相模の国から ～大魔神のたび～ 』小田原市への移住 茨城県 境町 参与 溝口 久

昨年10, 11月号に「南足柄市に勤めて」を寄稿したので、今回は仕事ではなく南足柄から現在の小田原市での住まいについて書いてみたい。

南足柄市では市役所まで徒歩7, 8分にある木造2階建て220㎡程ある医者住宅に住んでいた。敷地内にはRC造3階建て延床660㎡の建物も建っていた。外壁はコンクリート打ち放しと叩き仕上げ、中は1階医院、2階は床がトラーパーチンのゲストフロア、3階は天井が高く明るく開放的な住居になっている。一目で一流の建築家の設計であることがわかる。聞けば林雅子の晩年の作とのこと。流石に一人でここに住むことは叶わないと、木造住宅に住むことにした。

「売りに出しているため本来借家ではない。現況でお貸しするので設備他不都合があっても対応しかねる。その代わり家の中にあるものを自由に使い処分しても構わない、ただ指定の障壁画一点と壺・花瓶三点を除いてはね」が借りる条件だ。ならば管理人みたいなものだから家賃は格安にと交渉したが、結局7万円/月となった。

家の中は汚れ素足で中に入ることが躊躇われた。給湯器もインターホンもアンテナも用は成していない。筆筒の中には故人の衣類はそのまま、庭も荒れ放題の状況だった。結局70万円近く掛けて住める状態にした。前任地の小山町で親しかった方々には引越してから片付け、庭の手入れ、障子の張替と何から何まで手伝っていただいた。

住むところが代われれば新たな人の縁も次々に生まれる。南足柄市の副市長は元神奈川県職員の職員で小田原市在住であることもあって豊富な人脈があり、多くの人を結び付けていただいていた。

南足柄の我が家は幸い広い家と庭があるので、ここでも浜松市 - 小山町でやっていた縁側BBQや蕎麦会なるものを開いていた。そこに小田原のキーパーソンをお呼びした。話は静岡県庁時代のことよりも、前任地で手掛けた小山町での仕事、湯布院町に出向した時の話で盛上る。そして、お越しいただいた方々を小山町に案内した。この時に小田原市に代々続く製菓・菓子製造の外郎さんから「小田原に住まないか」との声が掛かった。氏は現在小田原市観光協会会長を務めている。聞くとところによれば、「持ち家が現在空いている。住んでいないので家も庭も荒れる。手放すことはない。ついてはここに住んでもらえないだろうか？小田原の観光振興にも協力願いたい。」南足柄の家は売れるまでは住むことはできるが、突然その日が来る。小田原市は小生お気に入りの都市のひとつでもある。断る理由はない、住む家が今以上の建築・庭であれば。現地を案内していただき驚いた。数寄屋の意匠の豪邸ではないか！門構え、電動ゲートの駐車場、広い庭。周囲の家も大きい、かつてのお屋敷まちだ。まさ

に断る理由はない、即決12月末に引越し新年から暮らすことにした。

家の中にはモノがたくさんあり、外郎さんはその処分に相当なエネルギーを要したとのこと。それでも自分は使わないであろうソファや机が部屋を占拠していたので、今度は南足柄市でできた知人らにもらっていた。

前室のある数寄屋玄関、広い床の間、応接間これらに飾るものは全て南足柄の家から持ち込んだので、様になった。思えば小山町に浜松から持ってきたものはワンボックスカー1台分程度、それが今ではすっかり物持ちになってしまった。わらしべ長者そのものと思っている。

家の中が様になったところで、小田原のキーパーソンをお呼びしての引越し蕎麦会を今年1月8日に開いた。打ち手は蕎麦道四段の野中さんチームが浜松から駆けつけてくれた。その後、プロの若手庭師による庭の改造に着手。おてつ旅と称して浜松時代の知人が我が家に滞在し、障子の張替、ボサノバライブ、文章講座を開催。外郎さんから期待された交流の場としての活用ができています。家と住む場所が大きな場力を持っているから、多くの交流を生み出すことができそうだ。

仕事は月一度茨城県境町に勤務、4月からは神奈川県松田町に参与として時々出勤する。静岡県、小山町、南足柄市と三度退職願いを出して今に至るが、まだ「流しの公務員」の看板を下さなくてよさそうだ。

